

『福島の風 出逢い』 シリーズ地域産業 6次化研究交流のつどい

10月26日はサンルートプラザ福島で約100名のご参加をいただき、本格焼酎『福島の風 出逢い』シリーズ『そば・芋・麦』開発と地域産業6次化研究・交流のつどい、を開催させていただきました。

この集いは、地域産業の6次化を推進する福島県から、県内外の先進事例や現在の取り組み事例等を紹介いただき、今後の課題等について意見交換を行う研究、交流を目的としています。

実行委員長挨拶をプロジェクトF21の齋藤代表より『福島県地域産業6次化について』を西山主幹より講演いただきました。



事例紹介として、「福島の風 出逢い」シリーズ焼酎開発プロジェクトが、「ふくしま農工商連携ファンド事業」に採択され、現在、芋焼酎の試作等の研究開発に取り組んでいる、西会津の生産者を交えての報告。

そば焼酎はその販売等も軌道にのりつつあり、モンドセレクションにおいて2年連続の『最高金賞』を受賞するなどの成果を上げ、その経過を坂下町の若宮ばくさくの生産者とともに報告させていただきました。

終了後は、有志による交流会を開催し、モンドセレクション『最高金賞』2年連続受賞祝賀会で、そば焼酎を堪能いただきました。交流会で福島大学の入野学長、福島県商工労働部の齋須部長、福島市の瀬戸市長、坂下町の竹内町長、うつくしま蕎麦王国協議会の唐橋会長、西会津の伊藤町長、から祝辞をいただきました。

会津坂下町で『本格焼酎 そば福島の風出逢い』の 連続受賞祝い

2月18日は会津坂下町で『本格焼酎そば福島の風出逢い』がモンドセレクションで2年連続最高金賞を受賞し、その報告会と祝賀会を開いていただきました。福島大学の丹治教授、会津農林事務所の遠藤所長、小林町議会議長に祝辞をいただいた後、プロジェクトF21の齋藤代表から竹内町長へ、記念の出逢いの4.5Lのボトルが贈呈されました。

その後、会津坂下町の町議会議員の新國民のコーディネイトで、竹内町長、プロジェクトF21の齋藤代表、そばの生産者を代表して若宮ばくさくの小林相談役、人気酒造遊佐の4名でパネルディスカッションを行いました。開発から商品が完成するまでの苦労話が披露され、より一層出逢いシリーズをご理解いただけたと思います。

懇親会では販売を開始したばかりの、西会津産の芋焼酎、二本松東和地区の麦焼酎も会津坂下の料理とともに楽しませていただきました。



西会津町の芋で芋焼酎 造り

今年は猛暑で、福島の芋が不作でしたので、少しでも長く成長してもらおうと、例年より遅い収穫になりました。量も少なく、来年の西会津産の芋焼酎は幻の焼酎になってしまいそうです。この日11月1日の本格焼酎の日に合わせて10月30日に収穫した芋を洗浄し、蒸しました。

量は少ないのですが、焼酎にするには問題無く美味しく芋も蒸せました。

